

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	小さな町から大きな挑戦！
対象地域	北海道豊浦町
対象地域の概要	【位置図】北海道胆振支庁管内の最西端に位置する。   豊浦町は中心市街地の商店街のまちなみ整備を昨年完成させたが、高齢化のためそれを機会に商売をやめてしまう方が多く、きれいになったまちなみは歯抜け状態となり、日中でも誰も歩いていないゴーストタウンの状態にある。
提案内容の概要	豊浦町は救急医療体制が十分ではなく、郡部への交通も不便である。そこで、日本一の救急法ができる町として町民の救命率を高め、町の安全・安心を売り込む。また、交流人口増加のために、高齢者からの遊びや体験、食などの伝承、高齢者とのふれあいを中心とした体験学習、高齢者宅への民泊などを通じて、豊浦町を第二のふるさとと覚るような地域のファンを増加させる。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	豊浦町の郡部では、救急車の到達に30分以上を要する地域もある上、最も近い救急病院は豊浦町の中心地から20キロ以上離れた伊達市にしかなく、救命率を高めるためには救急法の普及が必要である。 また、高齢化が進み一次産業、商工業も衰退している中で、高齢者はこもりがちである。そこで、高齢者が、体験学習などの指導や民泊などができる体制づくりをし、高齢者がこれらの活動に参加し副収入を得ることで活気を興させ、生きがいや健康の増進につなげる必要がある。
(2) 活動内容の案	活動①：救急法の普及 内容： - 町役場や広報などを通して、郡部、学校などへの普及啓発活動。 - 消防署との連携による普通救命講習の普及と、次段階講習として5時間以上の認定講習の受講。 - 上記活動が町民に認知され次第、定期的に講習会を開催。 - 町民普及率が15%を超えた段階で、各種媒体を使い、日本における初地区としてPR。 以上の取り組みにより、より一層町民のモチベーションが上がり、普及を加速させる。 活動②：高齢者の食・文化の伝承 内容： - 特筆すべき知識を持つ高齢者の情報を収集するため、教育委員会や地域住民に対して聞き取り調査などを行い、町の名人リストを作成。 - 地域の学校や青年達を対象に、名人リストに登載された高齢者が講習会を開催。 - 安全対策などをつくり、体験学習をメニュー化。 - 道内外の学生に町のファンになってもらうべく、体験学習を提供。 - 一次産業（食）については物産販売につながる仕組みも検討。 活動③：高齢者の住宅へ民泊 内容： - 郡部の高齢者住宅の空き部屋の実態等するための聞き取り調査を実施し、データベースを作成。 - 高齢者を対象に説明会を実施して、できる事、できない事などを聞き取り、協議会等の体制作りを行う。 - 体験学習や民泊などで高齢者の副収入につなげる。

	4. 道内外の学生に町のファンになってもらうべく、民泊体験を提供。 5. 大学生や社会人になっても、第二のふるさとになるような仕組みを創る。
応募団体名	豊浦町ふるさとづくり地域協議会
リンク	
部局／担当者名	事務局：NPO法人自然体験学校 洞爺湖・豊浦校 担当 乳井（ニューイ）亜矢子
連絡先	電話 0142-83-7040 F A X 0142-83-7066 fnorth@netbeet.ne.jp
推薦市町村名	北海道豊浦町